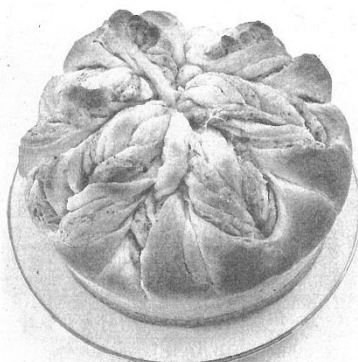


# さん 夢膨らむ特別賞

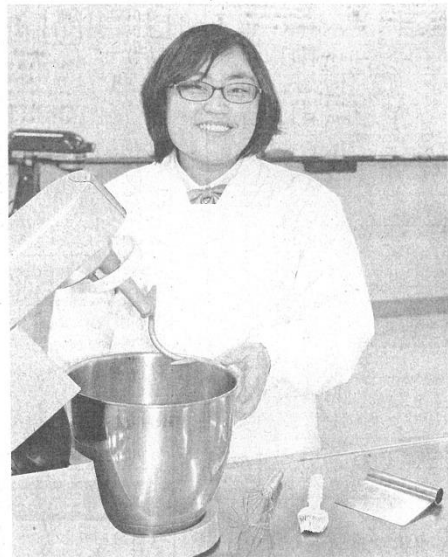
## 篠山東雲高3年 「地元で洋菓子店を」

県立篠山東雲高校（丹波篠山市）3年の  
茶を生かしたパンを作り、静岡県で開かれた「第16回全国高校生パンコンテスト」  
で特別賞に選ばれた。「夢はパティシエになって、地元で洋菓子店を開くこと」という  
さん。「受賞は大きな自信になります」と喜んでいる。（中野真一）

### 高校生パンコンテスト



㊦「全国高校生パンコンテスト」で特別賞に選ばれたさん（丹波篠山市で）㊧さんの受賞作「栗トパン」＝県立篠山東雲高校提供



同コンテストは1月22、23両日に開催され、「地産地消」など4部門に全国から425名の応募が寄せられた。書類審査を通過した生徒25人が、パン店の調理場での実技審査でパン作りの腕を競った。  
さんが応募したのは地産地消部門で、作品名は「栗トパン」。茶を混ぜた生地を発酵させて焼き、栗をペースト状にして生地の中に塗った洋菓子風のパンだ。  
書類審査を通過後、自宅で試行錯誤を重ねながら、同級生にも試食してもらい、栗の風味が足りないなどの課題を改善した。新型コロナウイルスの感染急拡大で、オンライン開催になる可能性もあったが、実演の動画を急いで撮影するなど、入念な準備で当日に臨んだ。  
実技審査では、制限時間（6時間）内の4時間40分

読売新聞  
2022年2月2日

で完成させ、最優秀、優秀に次ぐ特別賞の一人に選出された。さんは「まさ

ナ 自分の名前が呼ばれるなんて」と驚き、指導教諭とともに喜んだという。  
母親の影響で小学生の頃から菓子作りに励んできた。今後は日本調理製菓専門学校（姫路市）に進んで製菓衛生師の資格を取得し、丹波篠山で開店する目標を抱く。「菓子作りを通じて、地元をもっと元気にしたい」と話している。